

# 放っておくと怖い! 口コモティブ シンドローム フレイル

監修: 愛知産業保健総合支援センター所長  
山本 横

年をとるにつれ、骨や筋肉が弱りからだを動かしづらくなってしまいます。この状態が続くと、介護が必要な状態になったり、寝たきりに…。

いつまでも介護いらずで、いきいき元気に過ごしましょう。

## 知っていますか? 口コモティブシンドローム(口コモ)

加齢にともなって、骨や筋肉、関節などの機能が落ち、歩くことが難しくなり、介護が必要になる危険性が高まったり、実際に介護が必要になったりする状態を「口コモティブシンドローム(運動器症候群、通称: 口コモ)」といいます。

### 原因

- ① 筋力の低下 ② バランス能力の低下 ③ 骨や関節の病気

### 口コモを招く代表的な病気 骨粗しょう症

そのほか、変形性関節症、  
脊柱管狭窄症など

#### 口コモ予備群



- 運動不足
- 偏った栄養

立つ・歩くなどの動作が  
できなくなる



要支援・要介護の状態に  
寝たきりになることも…



#### あなたは 大丈夫?

- |                                     |                                       |
|-------------------------------------|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 運動の習慣がない   | <input type="checkbox"/> 肥満・やせている     |
| <input type="checkbox"/> 日常の活動量が少ない | <input type="checkbox"/> 痛みをガマンしている   |
| <input type="checkbox"/> 偏食になりがち    | <input type="checkbox"/> からだを酷使しすぎている |

左のチェックが1つでもあてはまつたら、  
**「口コモ予備群」**になる確率が高いといえます。

## 知っていますか?

# フレイル

フレイルとは加齢にともなって、からだが動かしづらい、食欲が低下し低栄養になる、記憶力が低下するなど、心身ともに機能が弱った状態です。放っておくと寝たきりになることもあります。

#### フレイルになると こんなことが心配されます

#### 社会的な面

- 閉じこもりがちとなる
- 社会交流の減少

#### 身体的な面

- 低栄養
- 転倒を繰り返す
- 嚥下・摂食機能の低下

#### 精神的な面

- 意欲・判断力の低下
- 認知機能の低下
- 抑うつ

#### あなたは 大丈夫?

- |  |  |   |
|--|--|---|
| <input type="checkbox"/> 体重が減った                  | <input type="checkbox"/> 歩くスピードが落ちた<br>(身体能力の減弱) | ▶ 3項目以上該当した場合 ..... <b>フレイル</b>             |
| <input type="checkbox"/> 疲れたと思うことが多い<br>(主観的疲労感) | <input type="checkbox"/> 筋力(握力)が低下した             | ▶ 1~2項目該当した場合 ..... <b>フレイルの前段階(プレフレイル)</b> |
| <input type="checkbox"/> 日常生活活動量の減少              |  | ▶ 該当項目が0の場合 ..... <b>健常</b>                 |

# 骨や筋肉を丈夫にする生活習慣ポイント

## 骨量を保とう

- 40歳代以降、年齢とともに骨量が低下！
- 更年期以降の女性は「骨粗しょう症」に注意！

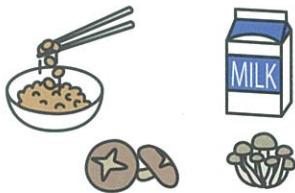
### ここを改善

- 過度なダイエットはしない
- 女性は閉経したら、定期的に骨量チェックをする
- カルシウム、ビタミンD、ビタミンKをとる

【カルシウム】牛乳、小魚、大豆、パセリ、チーズなど

【ビタミンD】シャケ、イワシ、きのこ類など

【ビタミンK】青菜、納豆など



カルシウム不足で骨量が低下します

## 筋肉を鍛えよう

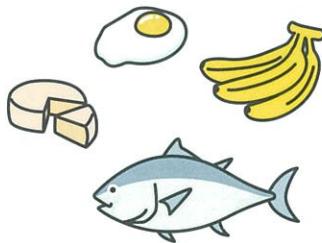
- 筋肉量は30歳代から低下が始まる！
- からだを動かすことで、筋力低下を抑えよう！

### ここを改善

- 活動量を増やし筋力アップをめざす
- たんぱく質、ビタミンB6をとる

【たんぱく質】肉、魚、豆腐、卵、チーズなど

【ビタミンB6】マグロ、カツオなどの赤身、赤ピーマン、キウイ、バナナなど



## 関節・椎間板を大切に

- 40歳代からすり減りや変形が始まると負担をかけすぎると傷んでしまう！

### ここを改善

- 関節や椎間板周囲の筋肉を鍛えて負担を減らす
- 肥満にならないように気をつける

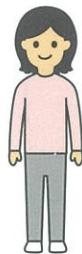
★食事や運動で関節軟骨や椎間板の傷みを治すことは難しいため、生活動作に気を配り、大切に使っていきましょう。「使いすぎ」にも「使わなさすぎ」にも気をつけてください。



## ロコモを防ぐ 「ロコトレ」にチャレンジ \まずはやってみよう! /

### バランス感覚を鍛える！ 片脚立ち

左右  
1分間ずつ  
×  
1日3セット



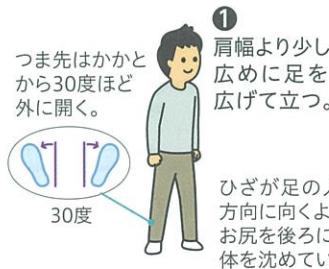
①姿勢をまっすぐに立つ。



②片方の脚をゆっくり持ち上げてキープする。  
床につかない程度でOK！  
※転倒にそなえて、つかまる物のそばで行ってください。

### 下半身に筋力をつける！ スクワット

5～6回  
×  
1日3セット



①肩幅より少し広めに足を広げて立つ。

ひざが足の人差し指の方向に向くよう注意して、お尻を後ろに引くように体を沈めていく。



②前かがみに5～6秒かけて腰を下ろしていく。  
5～6秒かけて元に戻る。  
ひざがつま先よりも前に出ないようにする。

※後ろ側への転倒に気をつけましょう。

あと10分、からだを動かそう！



### 出勤前

散歩やウォーキング、ラジオ体操、庭の手入れなど

### 勤務中

遠いトイレを使う、軽い体操をするなど



### 通勤時

自転車通勤、ひと駅前で下車して徒歩で出勤など

### 家の中で

体操、テレビを見ながらのロコトレやストレッチなど

### 帰宅時

速足で歩いて帰宅など

### 昼休み

移動に階段を使う、少し遠い店にランチに行く、ロコトレなど

頑張りすぎず、無理のない自分のペースで毎日続けてください！